

タクシーをご利用のお客様へ

2025年12月12日

株式会社find

**全国の落とし物の問合せ窓口統一に向けて、羽田空港旅客ターミナル・日本交通・京急電鉄
など主要事業者を横断——国内で初めて、複数の主要インフラ事業者を跨いだ落とし物検
索ネットワークを構築**



落とし物が必ず見つかる世界へ



「落とし物クラウドfind」を展開する株式会社find（東京都港区、代表取締役CEO：高島 彬）は、findを導入している羽田空港旅客ターミナル、日本交通、京急電鉄、京急バス、東京モノレール、一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会をはじめとする複数の交通事業者や商業施設で拾得された落とし物を横断的に検索できる機能を、「find chat」内にて本格始動いたしました。

今回の取り組みは、国内で初めて※、複数の主要インフラ事業者を横串でつなぎ、落とし物を一元的に検索できるネットワークを構築したもので、全国の落とし物への問合せ窓口統一に向けた大きな一歩となります。（※find調べ）

◆背景：全国で過去最多、年間3,000万点を超える落とし物

警察庁によると、2024年に届出のあった拾得物は特例施設占有者保管分を含め約**3,128万点**と過去最多を記録しました。警察を始め交通事業者や商業施設では、落とし物の管理・対応のコストが大きな問題になっています。

findはこうした交通事業者や商業施設に「落とし物クラウドfind」を提供し、落とし物のシステム登録、問合せ対応、照合などの管理業務を大幅に削減する支援をしてきました。また落とし主はチャットでいつでも各施設に問合せができるようになり利便性が向上しました。

（出典：警察庁 犯罪白書 第2章 https://www.npa.go.jp/hakusyo/r07/pdf/05_dai2sho.pdf）

◆「find chat」で本格始動した横断検索とは

落とし主は、落とし物をした場所が不明な場合は複数か所に問合せをします。一方で各事業者は、自社で保管していないかもしれないお忘れ物の問合せにも対応する必要があり、これは双方にとって大きな手間となっていました。

こうした課題を解決するため、「find chat」は、これまでfind導入企業が個社ごとに管理していた落とし物情報を一元化します。

落とし主は、一度の問合せで落とし物をしたであろう施設を複数選択し、検索するよう指定できます。問合せを受領したオペレーターは複数の施設を横断して落とし物情報を検索し、回答します。

これにより、落とし主、各事業者の双方の手間が削減されます。

◆連携先企業（2025年12月時点）

本サービスは、以下の6社の企業・団体との連携からスタートします。今後、全国の主要交通・商業施設への拡大を予定しています。

＜横断検索開始の企業・団体＞



企業名	主要施設名
京浜急行電鉄株式会社	全線 ※泉岳寺駅を除く
京浜急行バス株式会社	全ての路線バス・貸切バス・高速バス・特定バス
東京モノレール株式会社	全駅
日本空港ビルディング株式会社 東京国際空港ターミナル株式会社	羽田空港旅客ターミナル ※第3ターミナル保安検査後や航空会社の管轄など、一部エリアを除く
日本交通株式会社	約8,000台
一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会	協会加盟会社のタクシー

<今後、参画を検討している企業・団体>



企業名（五十音順）	主要施設名
関西エアポート株式会社	関西国際空港旅客ターミナル ※国際線出国手続き後や航空会社の管轄など、一部エリアを除く
北大阪急行電鉄株式会社	各駅（緑地公園駅～箕面萱野駅）
JR西日本SC開発株式会社	ルクア大阪、天王寺ミオ
渋谷スクランブルスクエア株式会社	渋谷スクランブルスクエア
首都圏新都市鉄道株式会社	全駅
株式会社そごう・西武	そごう横浜店、そごう千葉店、そごう大宮店、そごう広島店
多摩都市モノレール株式会社	全駅

東京都交通局	都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー ※押上駅・白金高輪駅・白金台駅・目黒駅・新宿線新宿駅を除く
阪急阪神ビルマネジメント株式会社	－
阪急阪神不動産株式会社	－
東日本旅客鉄道株式会社	全駅
北海道エアポート株式会社	函館空港、釧路空港、帯広空港、女満別空港
北海道旅客鉄道株式会社	全駅
三菱地所・サイモン株式会社	御殿場プレミアム・アウトレット
株式会社ゆりかもめ	全駅

◆今後の展望：2026年4月までに、日本全国の遺失物カバー率15%（※）を目指す

findは、2026年4月までに日本全国の遺失物カバー率15%の達成を目標に掲げています。「落とし物を探す」から「落とし物が自動で見つかる」社会への転換を目指し、AI・クラウド・データ連携を活用した安心・信頼の社会インフラの構築を進めていきます。

※全国の年間の遺失物件数：5,000万件（find調べ）をもとに試算

◆「落とし物クラウドfind」とは

「落とし物クラウドfind」は、落とし主の「連絡するだけでも大変」「探しても見つからない」という悩み・不安を、テクノロジーの力によって解決するサービスです。常に最先端の技術を取り入れ、様々なサービスと連携することでアップグレードし、利便性の向上を図っています。また、遺失物管理だけでなく、返却率向上や管理者の業務効率化をはじめ、ユーザーとのコミュニケーションから警察署への連携まで、ワンストップで利用できる仕組みを提供しています。

鉄道会社や商業施設、テーマパークなど、多くの人が集まる場所で必ず発生する「落とし物」を、迅速かつ効率的に見つけられる環境づくりを支援し、ユーザーの満足度向上に貢献することで、導入企業と利用者の信頼関係を築き、安心して日常生活を送ることができる社会の構築に貢献します。

<落とし物クラウドfind> <https://service.finds.co.jp/>

◆find会社概要

社名：株式会社find

代表者：代表取締役CEO 高島 彬

本社所在地：東京都港区西新橋3丁目13番3号 BIZCORE西新橋11階

資本金：1億529万4,314円

事業内容：「落とし物クラウドfind」並びに附随サービスの開発・提供・運営

コーポレートサイト：<https://www.finds.co.jp/>

採用サイト：<https://www.finds.co.jp/recruit>

落とし物課題に寄り添うメディア「find way」：<https://service.finds.co.jp/findway>